

科目名	言語療法特論			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
言語聴覚士に必要な知識を整理する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
ポイント講義を通じて言語聴覚障害学全般の理解と感心を深める。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
言語聴覚士として必要な基本的姿勢と態度・知識・技術を身に付ける。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	専任教員によるポイント講義 (1)							
3	専任教員によるポイント講義 (2)							
4	専任教員によるポイント講義 (3)							
5	専任教員によるポイント講義 (4)							
6	専任教員によるポイント講義 (5)							
7	専任教員によるポイント講義 (6)							
8	専任教員によるポイント講義 (7)							
9	専任教員によるポイント講義 (8)							
10	専任教員によるポイント講義 (9)							
11	専任教員によるポイント講義 (10)							
12	専任教員によるポイント講義 (11)							
13	専任教員によるポイント講義 (12)							
14	専任教員によるポイント講義 (13)							
15	専任教員によるポイント講義 (14)							
16	専任教員によるポイント講義 (15)							
17	専任教員によるポイント講義 (16)							
18	専任教員によるポイント講義 (17)							
19	専任教員によるポイント講義 (18)							
20	専任教員によるポイント講義 (19)							
21	専任教員によるポイント講義 (20)							
22	専任教員によるポイント講義 (21)							
23	専任教員によるポイント講義 (22)							
24	専任教員によるポイント講義 (23)							
25	専任教員によるポイント講義 (24)							
26	専任教員によるポイント講義 (25)							
27	専任教員によるポイント講義 (26)							
28	専任教員によるポイント講義 (27)							
29	専任教員によるポイント講義 (28)							
30	まとめ							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
言語聴覚士テキスト 第3版			大森孝一ほか			医歯薬出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。								